

洗練されたサウンドで不動の人気を誇るピアノ・トリオ、10年ぶりの最新アルバムを引っ提げて帰ってきます！

クラシックから映画音楽、ポップスまでを独自のジャズへと昇華

コンサートホールで聴く、最上のアコースティック・ミュージック・シリーズ Vol.5

最新アルバム「EUROPEAN COMFORT」リリース記念

ヨーロピアン・ジャズ・トリオ

European Jazz Trio 2025



11/28 [金] 19:00開演 (18:30開場) ● 浜離宮朝日ホール

プログラム: 「ニュー・シネマ・パラダイス 愛のテーマ」「ミッシェル」「サウンド・オブ・サイレンス」
「タイム・アフター・タイム」「ザ・グレイテスト・ラヴ・オブ・オール」「見つめていたい」
「イングリッシュマン・イン・ニューヨーク」「ホテル・カリフォルニア」「雨だれ」 ほか

チケット: 全席指定 S席6,000円 A席5,000円 (税込)

ご予約・お問合せ: チケットスペース 03-3234-9999 (10:00~15:00 ※休業日除く) [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)

プレイガイド: 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00~18:00) [朝日ホール・チケットセンター](#) [検索](#)

チケットスペース 03-3234-9999 (10:00~15:00 ※休業日除く) [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)

チケットぴあ [t.pia.jp](#)

イープラス [eplus.jp](#)

ローソンチケット [l-tike.com](#)

※車椅子のお客様はチケットご購入前にチケットスペースにお電話ください。03-3234-9999 (10:00~15:00*休業日を除く)

※就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用くださいませ。(要予約)【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※演奏曲目等は変更となることがございます。あらかじめご了承下さい。 ※チケットご購入後のキャンセル及び変更はできません。

主催:朝日新聞社、浜離宮朝日ホール、OZAWA ART PLANNING LLC 協力:株式会社ポニーキャニオン、一枚の絵

運営:株式会社インタースペース 企画・制作:OZAWA ART PLANNING LLC

ヨーロッパ・ジャズ・トリオ

〈札幌スペシャル〉 *European Jazz Trio Sapporo Special 2025*

EUROPEAN JAZZ TRIO

ヨーロッパ・ジャズ・トリオ

デビュー35年を優に超えるヨーロッパ・ジャズ・トリオは、オランダのジャズ・ミュージシャン3名で結成されたジャズ・ピアノ・トリオ。1989年にリリースしたアルバム『ノルウェーの森』が大ヒットして以来、多くの録音と演奏活動を続けており、1995年に2代目ピアニストとしてピアノのマーク・ヴァン・ローンを迎えてからは、ベースのフランス・ヴァン・ダー・ホーヴァン、ドラムのロイ・ダックスからなるトリオとして全世界で活発な活動を続けている。彼らの音楽は、あらゆるスタイルやジャンルの曲を取り上げ、それにジャズの解釈と美しいアレンジによる独自の音楽を創ってきており、彼らにとって『ジャズ』とは、形式やメロディ、サウンド、リズム、グルーブを自由に組み合わせることで新鮮で斬新な音楽を創作することを意味しており、それによってジャズの境界を広げること成功している。これまでに数多くのアルバムをリリースしているが、最近ではロール・プレイング・ゲームの「メイプルストーリー」の音楽を編曲しオーケストラとも共演している。今回は、待望のアルバム「ヨーロッパ・コンフォート」のリリースを記念して全国ツアーを行う。



MARC VAN ROON

マーク・ヴァン・ローン (ピアノ)

オランダのジャズ・ピアニスト、マーク・ヴァン・ローン(1967年ハーグ生まれ)は、10歳でクラシック・ピアノを学び始めた。彼のジャズと即興への興味は、プロのジャズ・ピアニストであった父、ヴァウター・ヴァン・ローンから影響を受けた。16歳でハーグ王立音楽院に入学。フランス・エルセン、ロブ・ヴァン・クリーヴェルト、ジェフリー・ダグラス・マッジ、ラニー・コーに師事し1991年に卒業。その後ニューヨークに渡り、バリー・ハリスやリッチー・パイラークに学ぶ。1993年にオランダに戻ると自身のトリオを結成、多くのミュージシャンと共演を続けると同時に、創造的なアート・コンサルティング・グループ「アート・イン・リズム」を共同設立し、聴衆のための学習経験を基とした講演活動を世界中で行なった。その後は演奏活動と並行して、リーダーやグループ、組織のためのクリエイティブ・ファシリテーターとして、即興の技術を主なインスピレーションの源として活用した持続可能な変化と学習プロセスを支援する活動をしている。リーダーとして多くのCDをApple on the Moonレーベルに録音しており、そこではソロ・アルバム、他のミュージシャンとの共作、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団のメンバーによる「エゴニー・バンド」などがある。彼はまた作曲家として、振付家アナベル・ロベス・オチョアのバレエ『ピフォア・アフター』や『シンピオシス』のための付随音楽も作曲するなど、ダンス・カンパニーやさまざまな音楽アンサンブルのために楽曲やオーケストラ作品を作曲し、いくつかのCDをプロデュースしている。

FRANS VAN DER HOEVEN

フランス・ヴァン・ダー・ホーヴァン (ベース)

フランス・ヴァン・ダー・ホーヴァンは、オランダのベース奏者、作曲家、編曲家、教育者、マルチ奏者である。彼は、ジェシー・ヴァン・ルーラー・トリオ、イーフ・アルバース・トリオ、フェイ・クラッセン・バンド、レッド・イエロー&ブルー、ジェロエン・ヴァン・フリート・トリオなどのミュージシャンと共演しており、これまでに、クラーク・テリー、ウディ・ショウ、バーニー・ウィレン、ジャック・ディジョネット、エイヴィンド・オールセット、ハリー・スウィーツ・エディソン、アート・ファーマー、ロニー・キューパー、トム・ハレル、リー・コニッツ、ディー・ディー・ブリッジウォーター、トゥーツ・シールマンス、カート・ローゼンウィンケル、等とも共演している。録音では、トーン・ルース・カルテット、ロブ・マドナ、ジェシー・ヴァン・ルーラー、ハン・ベニク、ディデリク・ウィッセルズ / デヴィッド・リンクス、アート・ファーマー、チャーリー・マリアーノ、フェイルーズ、ルー・タバキン、ダッチ・ジャズ・オーケストラ等と録音を行っている。

ROY DACKUS

ロイ・ダックス (ドラムス)

ロイ・ダックス(1964年生まれ)は、プロのドラマーであった父の影響で早くからドラムを始めた。その後1987年にアムステルダム音楽院を優秀な成績で卒業。これまでにトゥーツ・シールマンス、ランディ・ブレッカー、リシャル・ガリアーノ、オランダのロックバンド、フォーカス、ヤン・アッカーマンなどのアーティストと共演し、録音を行ってきた。また、ヴィンス・メンドーサ指揮のメトロポール・オーケストラ、コンセルトヘボウ・ジャズ・オーケストラ、ヘッシェル・ルンドフンク・ビッグバンドなどのオーケストラでも演奏した。彼は1988年からヨーロッパ・ジャズ・トリオのメンバーであり、トリオとしてアート・ファーマー、チャーリー・マリアーノ、ジェシー・ヴァン・ルーラー、タイス・ヴァン・レーアとも共演している。

European Jazz Trio 最新アルバム



European Jazz trio European Comfort

2025.9.24発売 PCCY.30252 ¥3,000(税込)

ヨーロッパ・ジャズ・トリオ(EJT)10年ぶりのニュー・アルバム。イーグルス、U2、スティヴィー・ニクス、プリンス、フィル・コリンズなどのヒット曲を、EJTの特長であるヨーロッパの気品を感じさせるソフィスティケートされたピアノ・トリオでカバー。